

## プロジェクトと授業の変化

### フィンドレー大学奨学生レポート・機械工学系（1月）

フィンドレーでは吹雪になる日もあり、冬の厳しい気候が感じられるようになりました。新年を迎え、日々を充実させていこうという思いを新たにしました。今月は、インターンシップでのセミナー、新学期の授業、スーパーボウルのことをお伝えしていきたいと思います。

Nissin Brake Ohio（以下 NBO）：



講義を受ける私達



検査の様子

1月16日、クーラントのリサイクルに関するセミナーが NBO にて行われました。（クーラントとは、金属を加工するとき潤滑・冷却目的で使われる液体のことで、時間が経つにつれ汚れていきます。）午前中は座学にてリサイクル方法やクーラントの性質を学び、午後は実際の検査を通してその測定方法を体験しました。

講義の中で最も心に残ったのが、最後に紹介して頂いた他社のリサイクルプロジェクトでした。プロジェクト実施前後のコスト計算が厳密になされていて、私達が目指すべきレベルを見せて頂いたように思います。

また、私は今まで、汚れたクーラントをどうしたら手間をかけず綺麗にできるかを考えてきましたが、実際にはクーラントを管理し綺麗な状態を維持していくことがより重要なのだと分かりました。クーラントを管理するにはその濃度に気を配ること、そしてその濃度がコストにもつながっていることなど今まで意識したことのない部分に次々と触れられ、とても内容の濃い講義となったと感じています。講師の方は、「クーラントは機械を保守・管理する液体では

なく生産品である」と仰っていたことが印象に残っています。NBO で生産される部品は厳しく品質管理がされていますが、クーラントに対しても同じ扱いをすべきだと感じました。

ただ残念な事が一つありました。今まで考えてきた案を不採用にすることとなったのです。1月からトライアルを予定していただけに少し心残りではありません。しかし、インターンシップだからこそ失敗もできるのだと感じます。この失敗から多くを学びより良いシステムを作っていこうと決意しました。

授業：

月	火	水	木	金
		Japanese		
Composition		Composition		
Composition		Composition		Composition
	Communication		Communication	
Listening	Skill	Listening	Skill	Listening
インターンシップ (NBO)				

新学期に入り、IELP の授業も内容が少し変わりました。前期では自分の意見を作り、表現することが中心だった授業が、今期では話し合い中心の授業となりました。先日は、書いたエッセイを小グループで回し読みし、良い点・悪い点を語り推敲に役立てるという授業がありました。

物怖じする性格もあり伝える事の難しさを実感しますが、他人の考え方、表現に触れる事ができ自分の表現を見つめ直す機会となったと思います。これは個人的な意見ですが、言い方には国毎に性格が見られ、中国人は活発、サウジアラビア人は物腰が柔らか、そして日本人はしっかりした、別の言い方をすると固い、といった印象を持ちました。私自身はやはり、いつも固い言い方をしてしまいます。それぞれに良さを感じられるため、授業のときは柔らかく、友達と話すときは活発にといった風に状況に応じて表現を使い分けていきたいと思っています。

スーパーボウル：



#### 試合の行方を見つめる

2月5日夜、「スーパーボウル」というアメリカンフットボールの試合が行われました。アメリカンフットボールはアメリカで最も人気のあるスポーツの一つで、年に1度のNFL優勝が決まるこの試合は多くのアメリカ人が見るものなのだそうです。

私はNBOの社員の方の家にお邪魔して、見ることができました。彼の家には、彼の友人が集っており、アメリカらしさを感じました。観戦中、双方の選手が活躍する度に、大きな歓声が上がります。お気に入りのチームが得点した際にはガッツポーズしたり思い切り叫んだり、誰もがその試合を楽しんでいるようでした。ハーフタイムには、コンサートがあり壮大なステージで観戦者を楽しませていました。スタジアムの規模、観戦する人の数、ステージの華やかさ、どれをとっても私にとって経験のない規模で、アメリカにいることをここでも実感することとなりました。